

北海道公立大学法人 札幌医科大学

Vision for

the Next Decade

札幌医科大学の新長期ビジョン「札幌医科大学 Vision for the Next Decade」は、次の3つから構成されています。

札幌医大の5つの「KEY=キ」

「機動力」「基盤」「希望」「気持ち」「絆」

SAPMED

「Streamline:効率化」

「Automation:自動化」

「Professional Development:専門的成長」

「Modern Collaboration:現代的連携」

「Engagement & Encouragement:関与と奨励」

「Data-Driven Excellence:データ活用による卓越性」

ビジョン

「教育」「研究」「診療」「国際・社会連携」「ガバナンス」

本ビジョンの作成にあたっては、若手から中堅の教員が中心となり、大学と附属病院の第一線の教育・研究・診療の現場で活躍している人たちの、生きた「目線」や「想い」を反映することを目指しています。

札幌医大の

「機動力」「基盤」

01 KIDORYOKU 機動力を持った地域医療の振興

地域のニーズに迅速に対応できる医療体制を整備し、住民の健康を支えます。移動診療や遠隔医療を活用し、医療アクセスの難しい地域にも高品質な医療サービスを提供します。

02 KIBAN 基盤を支える医療人材の育成

次世代の医療を担う人材を育成し、持続可能な医療システムを構築します。高度な専門知識と倫理観を備えた医療従事者を輩出します。

03 KIBOU 希望をつなぐ基礎医学・臨床研究の推進

最先端の基礎医学研究を基盤とし、臨床研究やトランスレーショナルリサーチを推進します。新たな治療法や治療薬の開発に取り組むとともに、難病や未解決の医療課題に挑戦します。研究成果を社会実装し、社会に希望をもたらす科学の力を追求します。

04 KIMOCHI 気持ちに寄り添う全人的医療の展開

患者さんの心と身体の両面に配慮したケアを行い、信頼関係を築きます。医療チームが一丸となり、患者さんの生活背景や価値観を尊重し、全人的医療の実現を支える基礎研究にも注力します。ストレスや疾患メカニズムの解明を通じ、患者中心の医療モデルを科学的に裏付ける取り組みを進めます。

05 KIZUNA 絆を深める医療連携の強化

他の医療機関や福祉施設との連携を強化し、包括的なケア体制を構築します。地域の医療ネットワークを活用し、情報共有と協力を促進します。

つの「KEY=キ」

「希望」「気持ち」「絆」



5つの「KEY=キ」

SAPPORO MEDICAL UNIVERSITY

実現のための基本的方策 **SAPMED**

S **treamline** 効率化

デジタル革新で業務効率を向上

紙媒体の使用を大幅削減し、DXを積極的に推進します。オンライン文書管理システムを導入し、教育・研究・診療及び事務管理を迅速かつ効率的に行える環境を整備します。

A **utomation** 自動化

業務プロセスの最適化で迅速対応

業務フローを見直し、徹底的に無駄を排除します。押印をなくし電子署名を導入することで、診療記録、研究データ管理、教育運営の意思決定を大幅にスピードアップします。

P **rofessional Development** 専門的成長

人材育成で組織力を強化

継続的な教育研修を通じて、最新の医療技術やICTスキルを持つ人材を育成します。次世代の法人職員の活力を引き出し、組織の新陳代謝を促進します。道からの派遣職員の割合を段階的に減らし、教職協働のもと人材流動性を高めることで、事務職員全体の能力を底上げし、教育・研究・診療を支える強固な基盤を築きます。

M **odern Collaboration** 現代的連携

コミュニケーション強化で連携を促進

オンラインツールやプラットフォームを活用し、診療チーム、教育機関、研究グループ間の情報共有を円滑化します。部門間の連携を深めるだけでなく、国際的なパートナーシップを構築することで、全体のパフォーマンス向上を図ります。

E **ngagement & Encouragement** 関与と奨励

柔軟な働き方で生産性と満足度を向上

フレックスタイム制やテレワークを導入し、職員のワークライフバランスを改善します。さらに、職員エンゲージメントを高める施策を打出し、組織コミットメントとモチベーション向上を図ることで、職員が意欲的に教育・研究・診療に取り組める環境を整備します。

D **ata-Driven Excellence** データ活用による卓越性

データを活用した組織戦略と業務改善

教育・研究・診療のデータを活用し、自己点検による恒常的な業務改善を推進します。データドリブンな意思決定により、効率的かつ持続可能な運営を目指します。

教育ビジョン

私たちの教育ビジョンは、5つの柱で次世代医療を担う人材を育成します。「Empowerment」で個性を活かした教育と医療DX教育を推進し、「Ethical」で高い倫理観と使命感を備え、「Engagement」で未来志向の地域医療リーダーを輩出します。「Enhancement」で多職種連携を強化し、協調力を育みながら「Exploration」により社会課題対応型教育を推進し、地域と世界に貢献します。

E mpowerment 能力強化

【多様な学生の個性を活かした教育と医療DX推進】

学生一人ひとりの特性や強みを最大限に引き出す個別カリキュラムを提供し、多角的な視点を持つ医療者・研究者を育成します。AIやビッグデータを活用した医療DXを推進する人材育成を強化し、遠隔医療やロボティクス技術にも対応できる教育環境を整備します。

E thical 倫理

【倫理観と使命感を備えた未来志向の医療人の育成】

医療倫理の教育を深化させ、医療環境の変化に適応する柔軟性をもち、多様な価値観を尊重して実践する能力を養います。国際的な基準に基づくカリキュラムや海外大学との共同プログラムを導入し、グローバル視点と異文化対応力を備えた人材の育成を目指します。

E ngagement 関与・参加

【次世代学習環境の創出と地域医療リーダーの育成】

オンライン教育と対面教育を融合させ、地域や世界を結ぶ教育プログラムを開発します。北海道特有の医療課題に対応できるリーダー育成のため、寒冷地特有の疾患や高齢化社会、僻地医療や災害医療等の実践的教育を充実させます。

E nhancement 強化

【チーム医療の力を育む多職種連携】

チーム医療や多職種連携を強化する教育を進め、協働力と実践力を兼ね備えた人材を育成します。シミュレーション教育や地域医療体験を通じ、現場で直面する課題に積極的に取り組み、新たな医療モデルの構築や改善に貢献できる能力を養います。

E xploration 探究

【学際的探究心と社会課題解決能力の育成】

MD-PhDプログラム等を通じ、早期からの研究志向性を養うとともに学外研究者との連携により、多様な研究機会を提供します。高齢化社会や感染症などの課題に対応するプロジェクト型学習を推進し、学生が課題発見から解決策提案までを体験できる環境を整えます。



研究ビジョン

私たちの研究ビジョンは、大学附属病院を有する北海道の医療系総合大学の特性を活かし、「Regional Focus」で北海道の医療課題を解決し、「Research Network」で国際共同研究を推進します。「Revitalization」で多職種・他分野との共創を実現し、「Resilience」では多様な研究者の環境を整備しながら、「Revolutionary Technology」で医療DXのイノベーションを実現します。

R egional Focus 地域特化

【地域特化型医療研究とサステナブルなシステム構築】

北海道の地域特性に基づき、寒冷地特有の疾患や高齢化社会、僻地医療の課題に対応する研究を深化させます。自治体や地域医療機関、企業等と連携して医療資源の効率的活用やエコフレンドリーな技術開発を推進し、持続可能な医療システムの構築を進めます。

R esearch Network 研究ネットワーク

【グローバル研究ネットワークの構築と革新的人材の活躍支援】

国際的な研究機関や大学との連携を強化し、グローバルな医療課題に対応する研究を展開します。多様なバックグラウンドを持つ人材の発掘と支援に注力し、特に女性や若手研究者が研究に注力できるよう、キャリア支援や環境の整備を進めます。

R evitalization 活性化

【多職種・他分野との共創の活性化】

医療系総合大学の特色を活かして多職種や他分野の共同研究を推進し、基礎研究と臨床応用を繋げる研究体制を構築します。工学、理学、社会学等の異なる学術分野との連携や産官学連携を強化して革新的な知見の共創を活性化させます。研究人材の育成や知財活用を推進します。

R esilience 回復力

【次世代の科学を牽引する研究者の育成と支援】

研究者が変化や困難に直面しても回復力を発揮できるよう、包括的な支援体制を強化します。セミナーやメンター制度、内外の研究機関との交流を通じ、自己成長や課題解決力を高める機会を提供し、多様な視点から将来の医学・保健医療学を支える研究者を育成します。

R evolutionary Technology 革新的技術

【データサイエンス・DXによる医療研究の革新と支援強化】

AI、ビッグデータ、IoTを活用し、医療DXを推進する研究を展開します。医療データ解析による新たな診断・治療法の開発や遠隔医療システムの構築を目指し、研究支援体制の強化によりデータサイエンス教育の専門家を育成します。



診療ビジョン

私たちの診療ビジョンは、「Trust」を基盤に、透明性のあるコミュニケーションと適切な施設整備を通じて未来志向の医療を推進します。「Talent」の育成、「Total Care」による生涯支援、「Transformation」を通じた教育・研究・診療の革新、「Teamwork」を活かした協力体制により、北海道の地域医療の質向上と持続可能な医療体制を目指します。

T rust 信頼

【信頼される医療機関の構築】

透明性のあるコミュニケーションを通じ、患者と職員から信頼される環境を提供します。AIや遠隔医療を活用し、地域全体の健康意識を向上させます。すべての職員が心地よく働ける環境を整え、医療の質向上や地域社会のニーズに応じて、必要な設備を適宜整備します。

T alent 人材

【次世代医療人材の育成】

教育と指導を重視し、柔軟な思考と迅速な対応力を持つ専門家を育てます。研究支援環境を充実させ、医療課題の解決に取り組むアントレプレナーシップを育成し、ジェンダーギャップの解消にも取り組みます。

T otal Care 包括的ケア

【生涯を支える包括的医療】

疾病予防からリハビリテーションまで患者のQOL向上を目指します。オーダーメイド医療と多職種間の連携により、世代を問わず適切な医療を提供し、地域全体の健康維持を支援します。

T ransformation 変革

【医療の質の抜本的向上】

教育・研究・診療の革新により、地域社会の変化に柔軟に対応します。災害時にも安定した医療を提供する緊急対応体制を整備し、未来志向の医療エコシステムを北海道に構築します。附属病院の戦略的経営により、安定した病院収支を実現します。

T eamwork チームワーク

【協働を基盤とした医療推進】

職種を超えたチームワークで患者中心の医療を実現します。医療従事者間の協力体制を強化し、情報共有と効率的なケアで地域医療の質向上を図ります。



International & Inspiration

SAPPORO MEDICAL UNIVERSITY

国際・社会連携ビジョン

私たちの国際・社会連携ビジョンは、「Innovation」によるDXを活用した地域医療・地域保健の最適化、「Integration」によるグローバルネットワークの拡大を通じた研究者・医療人の育成、「Inclusivity」を重視した国際都市札幌での最先端医療の提供を推進し、ステークホルダーとの共創からの「Inspiration」を大事にした「Impactful Engagement」を目指します。これらを通じて、地域住民と世界中から訪れる人々の健康とウェルビーイングに貢献します。

I nnovation 革新

【地域医療・地域保健のDXイノベーション拠点】

地域ステークホルダーと連携し、AIやIoTを活用した効率的かつ効果的な地域医療・地域保健の新たな形を共創します。医療資源へのアクセスを最適化し、持続可能な社会の実現に向けたイノベーションを推進します。

I ntegration 統合

【グローバルネットワークの拡充による研究者・医療人の育成】

海外の大学・医療機関との連携協定など多様なグローバルネットワークを拡充していきます。これらを基盤に、国際的素養を備え、世界に情報発信できる研究者・医療人を育成するための環境を整備します。

I nclusivity 包摂性

【国際都市札幌における グローバルスタンダードに基づく最先端医療の提供】

インクルーシブな社会を目指し、国際都市札幌でグローバルスタンダードに基づく最先端医療技術とサービスを提供し、地域住民だけでなく、世界中から訪れる人々の健康とウェルビーイングに貢献します。

I nspiration 着想

【地域特性を活かした革新的医療連携の実現】

地域住民や行政と協働し、北海道の特性を活かした新たな医療連携モデルを創出します。
遠隔医療や災害対応を含む持続可能な仕組みを構築し、地域全体の健康と安全を支えます。

I mpactful Engagement 効果的な関与

【地域と国際社会に対する持続可能で具体的な貢献の推進】

地域住民の生活や健康に密接に関与し、地域内外の健康課題に対して実効性の高い解決策を提供します。災害時や緊急事態における即応体制を強化し、地域医療や国際社会へのインパクトを持つ活動を展開します。



ガバナンスビジョン

私たちのガバナンスビジョンは、「Governance」を通じて透明性のある意思決定を実現し、「Gratification」の向上を目指した働きやすい職場環境を構築します。「Growth」を支える資源配分の最適化、「Globalization」によるICT活用と業務効率化を推進。「Groundwork」として財務・人材基盤の強化と魅力発信を進め、持続可能な成長を目指します。

G overnance ガバナンス

【道民の信頼を得るガバナンス体制の確立】

透明性のある意思決定プロセスを確立し、学生参加型のガバナンスを推進します。教育の質を向上させるとともに、地域社会からの信頼を得る体制を築きます。

G ratification 満足感

【働きがいのある職場環境の改善】

教職員の「働き方改革」を推進し、全学的なコンプライアンスを強化します。ダイバーシティ&インクルージョンを推進し、多様な人材が活躍できる環境と組織を構築し、やりがいのある環境を整えます。

G rowth 成長

【限りある資源を有効活用した成長の実現】

「選択と集中」による資源配分の重点化を行い、多職種連携を通じて総合的な医療提供を促進します。大学法人としての強みを活かし、効率的かつ効果的な成長を実現します。

G lobalization グローバル化

【ICT利活用と業務効率化の徹底】

ネットワーク基盤の強化や業務の簡素化を推進します。AIやデータ活用による業務改善を通じて、法人全体の効率性を高め、グローバルな視点での発展を目指します。

G roundwork 基盤

【財務・人材基盤の強化と法人の魅力発信】

外部資金の獲得と持続可能な人材育成で安定した基盤を確立します。SNSやメディアを活用した広報を戦略的に展開し、法人の魅力と強みを発信します。

